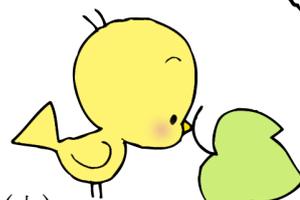


いいことたくさん 川本中!!

「性に関する講演会」報告

深谷市立川本中学校 P T A保健給食部 平成28年7月19日(火)



7月7日(木)、3年生全生徒を対象とし「性に関する講演会」が開催され、命の大切さや生きていくことの素晴らしさ、中学生の男女の心と体についてお話をいただきました。

今年度は管理棟大規模改修のため、音楽室で行うこととなり、講演会に保護者の皆様に参加いただけませんでした。来年度以降はまた皆様に参加していただければと思います。

思春期という多感な時期の心の状態や、男女の体の発育の違いや性との向き合い方など、ご家庭で参考になることが多いですので、ぜひ来年度は皆様ご参加ください。

出席されたP T A保健給食部及び生徒の、感想の一部をご紹介します。

【演題】 思春期の性について

【講師】 深谷赤十字病院 看護師長 丸岡 希美子 先生

(講師の紹介) 深谷赤十字病院に看護師長として勤務され、日々、命と向き合いご活躍されています。現在、思春期の中・高校生を対象として、「性に関する教育」の講演活動に取り組んでいらっしゃいます。



【感想】

- ・講演会を聞いて、正しい性の知識を知ることが出来たと思います。子どもたちは、色々なことを感じ、胸に響いたことでしょう。生命の大切さ、生きるということ。家族の愛を振り返るきっかけにもなりました。
- ・性に関する話を子どもたちにどこまで話したら良いのか、どう伝えたら良いのかがとても勉強になりました。親が正しい情報をしっかり子どもに伝え、それを受けて自分で責任のある行動をとれる様な思春期世代を過ごしてほしいです。
- ・とても沢山の方々に支えられて、無事にここまで成長してくれた、そして私は母親ができているのだと改めて気づかされました。沢山の命と向き合っているからこそ直面する、時には悲しい命、とても辛い話もありました。命は思い通りにはならないものです。だからこそ、とても尊い。人を思いやり、心と身体を大切に生きなければならないし、子どもが悩んだならば、ささいなことでも打ち明けてもらえる親になりたいと思いました。
- ・私は二人の子を授かりましたが、二人とも切迫流産、早産で本当に不安な妊娠生活を送っていました。今回、改めて命はあって当たり前ではなく、誰かに守られているということ感じました。年頃になった子どもたちの性に対する興味がどんなものか良く考え、どうしていばいいのか、きちんと話し合えるといいと思います。「性はイキイキとした人生を送ること」、自分で自分を守り、相手を思いやって素敵な人生を歩んでいけるよう、子どもたちを見守っていきたいです。
- ・性の話は中々子どもとは面と向かって話す機会がないので、看護師・助産師としての視点からわかりやすく、子どもたちに教えていただき、良い勉強になったと思います。たくさんの情報が簡単に知ることができる時代なので、その中から正しい知識を選び、行動できるようにって欲しいと思います。

